

調 査 研 究 結 果

	種目	発行者	教科書名
観 点	保健	2・東書	新編 新しいほけん 3・4 新編 新しい保健 5・6
取 扱 内 容	<p>○ 「健康な生活」については、第3,4学年では、手や衣服の汚れを調べる実験結果を基に体を清潔にする理由を考えたり、身の回りの環境についての問題点や改善点を考え、話し合ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、健康な生活について理解し、健康な毎日を過ごす力を身に付けることができるようになっている。</p> <p>○ 「体の発育・発達」については、第3,4学年では、自分の身長の変化や発育の個人差について調べたり、思春期の悩みに対する友達へのアドバイスを考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、体の発育・発達について理解し、すこやかな成長のためによりよい生活を送る力を身に付けることができるようになっている。</p> <p>○ 「心の健康」については、第5,6学年では、心と体がどのように影響し合っているかを自分の経験を基に考えたり、自分に合った不安や悩みへの対処法について、学習したことを基に考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、心の健康について理解し、不安や悩みなどに対応して健康な生活を実践する力を身に付けることができるようになっている。</p> <p>○ 「けがの防止」については、第5,6学年では、事故やけがの要因をデータや自分の経験を基に考えたり、けがの簡単な手当の実習を行い、自分でできる手当について考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、けがの防止について理解し、危険予測や回避方法、けがの簡単な手当など、安全な生活を実践する力を身に付けることができるようになっている。</p> <p>○ 「病気の予防」については、第5,6学年では、喫煙による害についてデータを基に説明したり、地域では、どのような保健活動が行われているのかを調べ、自分や家族の利用の仕方について考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、病気の予防や回復について理解し、健康な生活を実践する力を身に付けることができるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3,4学年では、健康な生活の学習において、学習課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「調べる・解決する」で2人の生活の仕方の事例を比較し、健康な生活の仕方について考え、「深める・伝える」で生活を見直した子どもがどのように変わるのかを考え話し合うなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動が取り上げられている。第5,6学年では、けがの防止の学習において、学習課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「調べる・解決する」で事例を基に危険を回避するための対策について考え、「深める・伝える」で交通事故を防ぐための環境整備の例から工夫されていることについて話し合うなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動が取り上げられている。</p>		

<p>内容の構成・排列</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、第3,4学年では、入学してからの体の成長について学習した後、体が発育する時期や変化する量の個人差について考える学習活動を位置付け、思春期の体の変化についても同様の学習活動ができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるようになっている。</p> <p>また、北海道にかかわりのある内容については、資料「スポーツ選手と食事」で、食事の大切さについて、プロバスケットボールチーム「レバンガ北海道」の管理栄養士さんのお話と橋本竜馬選手の食事例が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、第5,6学年では、事故やけがが起こる原因について学習した後、その原因を人の行動と環境に分けて考える学習活動を位置付け、交通事故や犯罪被害、自然災害についても同様の学習活動ができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるようになっている。</p> <p>また、北海道にかかわりのある内容については、資料「ユニバーサルデザインをさがそう」で、地域のユニバーサルデザインの例として札幌市の駅のホームドアの写真が取り上げられている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 授業の導入で児童が自分の健康課題に気付き、問題意識を高めることができる資料を提示したり、各項目末に学習内容と関連のある資料を掲載したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 習得した知識を基に考え、筋道を立てて表現する活動を示したり、学習したことをまとめ、自分の生活やこれからの学習に生かすための活動を示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ より多くの人に見やすく読み間違えにくいデザインの文字にしたり、色覚の多様性に配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、動画やシミュレーションを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

調 査 研 究 結 果

	種目	発行者	教科書名
観 点	保健	4・大日本	新版 たのしいほけん 3・4 新版 たのしい保健 5・6
取 扱 内 容	<p>○ 「健康な生活」については、第3,4学年では、自分の1日の生活を振り返り、健康な生活の仕方について考えたり、身の回りの環境の整え方について話し合ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、健康な生活について理解し、健康な毎日を過ごす力を身に付けることができるようになっている。</p> <p>○ 「体の発育・発達」については、第3,4学年では、1年生から4年生までの自分の身長の変化を調べたり、学習したことを基によりよく成長するための生活の仕方を話し合ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、体の発育・発達について理解し、すこやかな成長のためによりよい生活を送る力を身に付けることができるようになっている。</p> <p>○ 「心の健康」については、第5,6学年では、心と体のつながりをこれまでの経験を振り返って考えたり、不安や悩みへの対処として体ほぐしの運動や呼吸法の実習を行ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、心の健康について理解し、不安や悩みなどに対応して健康な生活を実践する力を身に付けることができるようになっている。</p> <p>○ 「けがの防止」については、第5,6学年では、予測される危険やけがを防ぐ安全な行動について考えたり、けがの簡単な手当の実習を行い、けがをしたときの例示を基に実際の処置の仕方を考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、けがの防止について理解し、危険予測や回避方法、けがの簡単な手当など、安全な生活を実践する力を身に付けることができるようになっている。</p> <p>○ 「病気の予防」については、第5,6学年では、病気になった要因について自分の生活を振り返って考え、話し合ったり、学習したことを基に虫歯や歯周病を予防するための生活習慣について考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、病気の予防や回復について理解し、健康な生活を実践する力を身に付けることができるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3,4学年では、健康な生活の学習において、学習課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「話し合おう」で1日の生活リズムと運動、食事、休養・睡眠とのかかわりについて話し合い、「活かそう」で自分の生活リズムを整えるために工夫したいことを書くなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動が取り上げられている。第5,6学年では、けがの防止の学習において、学習課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「考えよう」で事例を基に予測される危険や犯罪被害を防ぐための安全な行動について考え、「活かそう」で学習したことを活用して身近な場所や場面での危険を避ける安全な行動や環境づくりについて考えるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動が取り上げられている。</p>		

<p>内容の構成・排列</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、第3,4学年では、1日の生活の仕方や健康によい生活環境について学習した後、自分の生活を振り返り、健康に過ごすための生活の仕方について話し合う学習活動を位置付け、生活リズムを整えるための工夫ができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるようになっている。 ○ 内容の構成・排列については、第5,6学年では、生活の仕方と病気の予防について学習した後、長期間にわたる喫煙が体に与える影響について考える学習活動を位置付け、飲酒や薬物乱用の影響についても同様の学習活動ができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるようになっている。
<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の扉に児童が学習課題に気付くことができる簡単なゲームを掲載したり、学びを広げて深めることができるよう学習内容に関連した「ミニ知識」を示したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 考える、話し合う、調べるなどの活動を通して課題を解決する活動を示したり、学習でまとめたことを活用し、深める活動を示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、色覚の特性によらず情報が読み取れるよう、配色に配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、デジタルコンテンツを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	

調 査 研 究 結 果

	種目	発行者	教科書名
観 点	保健	50・大修館	新 小学校ほけん 3・4 新 小学校保健 5・6
取 扱 内 容	<p>○ 「健康な生活」については、第3,4学年では、自分の生活についてイラストを基に振り返り、友達と話し合ったり、空気の流れについての実験結果を基に換気の大切さについて考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、健康の大切さや健康によい生活の仕方を理解し、健康に過ごす力を身に付けることができるようになっている。</p> <p>○ 「体の発育・発達」については、第3,4学年では、1年間ごとの身長伸びをグラフにして調べたり、思春期に起こる心の変化についてイラストを基に類似した経験を想起したりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、体の発育・発達について理解し、すこやかな成長のためによりよい生活を送る力を身に付けることができるようになっている。</p> <p>○ 「心の健康」については、第5,6学年では、心の働きが年齢とともにどのように変化してきたのかを話し合ったり、不安や悩みへの対処として体ほぐしの運動や呼吸法の実習を行ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、心の発達及び不安や悩みへの対処について理解し、それを緩和するための対処の方法を行って健康な生活を実践する力を身に付けることができるようになっている。</p> <p>○ 「けがの防止」については、第5,6学年では、資料を基に交通事故を防ぐための方策を考え、その理由について話し合ったり、けがの簡単な手当の仕方を知り、実習を行ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、けがの防止について理解し、けがなどの簡単な手当の技能を身に付け、安全な生活を実践することができるようになっている。</p> <p>○ 「病気の予防」については、第5,6学年では、病気になった要因について自分の生活を振り返って考え、資料を活用して整理したり、学習したことを基に感染症を予防する方法について話し合ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、病気の予防について理解し、望ましい生活習慣を身に付けるなど健康な生活を実践することができるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3,4学年では、健康な生活の学習において、自分の生活を振り返って学習課題を設定し、児童に自分のこととして課題を捉えられるようにするとともに、「考えよう」で健康でいるために大切なことについてイラストを基に考え、「まとめよう」で学んだことと生活を結び付けさせるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動が取り上げられている。第5,6学年では、心の発達の学習において、学習課題を設定し、児童に見通しをもたせるとともに、「話し合おう」で例示された各発達段階における心の成長や変化について気付いたことを話し合ったり、「考えよう」でイラストを基にどのように心が発達するするのか考えたりするなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動が取り上げられている。</p>		

<p>内容の構成・排列</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、第3，4学年では、健康の大切さについて学習した後、健康に過ごすための生活の仕方についての学習を位置付け、体や身の回りの環境を清潔に保つ方法についても同様の学習ができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。</p> <p>また、北海道にかかわりのある内容については、「2 体の成長」の扉絵で、幼少期のスポーツ経験や自身が大切にしていることについて、スピードスケート選手の高木美帆さんのインタビューが取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、第5，6学年では、心の発達について学習した後、心と体の関わりについての学習を位置付け、不安や悩み対処するための具体的な方法について学ぶことができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。</p> <p>また、北海道にかかわりのある内容については、解説「ユニバーサルデザイン」において、札幌市のスロープの写真、並びに調べよう「そのほかの保健活動」において、札幌市の薬局の写真がそれぞれ例として取り上げられている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 著名人のインタビューを掲載し、興味をもつことができるようにしたり、身近な生活の中から健康課題を発見する活動を設定したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 友達と話し合い、互いの考えを共有する対話的な活動を示したり、自分の生活を見直すなどして自己の課題を修正する活動を示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ ユニバーサルデザインフォントを採用し、視認性と可読性を高めたり、様々な色覚の特性に対応したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、動画やシミュレーション、ウェブクイズを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	

調 査 研 究 結 果

	種目	発行者	教科書名
観 点	保健	207・文教社	新わたしたちのほけん 3・4 新わたしたちの保健 5・6
取 扱 内 容	<p>○ 「健康な生活」については、第3,4学年では、1日の生活のリズムについて調べ、健康と生活の仕方の関わりについて考えたり、学習したことを振り返り、生活環境を整えるために心がけることを考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、健康の大切さや健康によい生活の仕方を理解し、健康に過ごす力を身に付けることができるようになっていく。</p> <p>○ 「体の発育・発達」については、第3,4学年では、自分の身長の変化や発育の仕方の違いについて調べたり、思春期における異性への関心の芽生えについて資料を基に考え、話し合ったりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、体の発育・発達について理解し、すこやかな成長のためによりよい生活を送る力を身に付けることができるようになっていく。</p> <p>○ 「心の健康」については、第5,6学年では、不安や悩みについて自分の経験を振り返り、資料を基に要因などを調べたり、自分に合った不安や悩みへの対処方法について学習したことを基に考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、心の発達及び不安や悩みへの対処について理解し、それを緩和するための対処の方法を行って健康な生活を実践する力を身に付けることができるようになっていく。</p> <p>○ 「けがの防止」については、第5,6学年では、けがの発生原因についてイラストやグラフを基に考えたり、けがの簡単な手当の実習を行った後、けがをしたときの例示を基に実際の状況判断の仕方を考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、けがの防止について理解し、けがなどの簡単な手当の技能を身に付け、安全な生活を実践することができるようになっていく。</p> <p>○ 「病気の予防」については、第5,6学年では、病原体が原因で起こる病気について感染の道筋を資料で調べたり、生活習慣病の予防の仕方について調べ、これからの生活で心がけることを考えたりするなど、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、病気の予防について理解し、望ましい生活習慣を身に付けるなど健康な生活を実践することができるようになっていく。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3,4学年では、健康な生活の学習において、学習課題を設定した後、「Mission1」で健康と生活の仕方の関わりについてイラストを基に考え、「Mission2」で学んだことと生活を結び付けて今後にかかすことを考えさせるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動が取り上げられている。第5,6学年では、心の発達の学習において、学習課題を設定し、「Mission1」でイラストや自身の経験を基に発達について考え、「Mission2」で心をよりよく発達させるために大切にしていこうとすることを考えるなど、自分の考えを広げたり、深めたりする活動が取り上げられている。</p>		

<p>内容の構成・排列</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、第3，4学年では、健康の大切さについて学習した後、健康な生活を送るための目標を考え、伝え合う学習活動を位置付け、目標を意識して生活がおくることができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。 ○ 内容の構成・排列については、第5，6学年では、心の発達について学習した後、心と体の関わりについての学習を位置付け、不安や悩み対処するための具体的な方法について学ぶことができるようにするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。 また、北海道にかかわりのある内容については、「2 けがの防止」の全国の交通事故の死者数と負傷者数において、北海道の死者・負傷者数が取り上げられている。
<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の導入において、児童が健康課題を自分事として共感して捉えやすい吹き出しを示したり（全学年）、次の時間へのつなぎとして、継続した思考を促す内容を示したり、豆知識などを示したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 単元のまとめとして、今後の自分の課題を考え、目標を立てる活動を示したり、考えたことを友達と伝え合う対話的な活動を示したりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 書体や文字の大きさ、色についてユニバーサルデザインの観点に配慮したり、読みやすく分かりやすいレイアウトにしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、動画やデータを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
<p>その他</p>	

調 査 研 究 結 果

	種目	発行者	教科書名
観 点	保健	208・光文	小学ほけん 3・4年 小学保健 5・6年
取 扱 内 容	<p>○ 「けんこうな生活」については、第3, 4学年では、健康とはどんな状態か自分の生活を振り返って、健康には何が関係し、大切なのかを考えたり、手や衣類の汚れを調べる実験結果をもとに、体や衣類の清潔の大切さについて考えたりする活動を通して、健康について理解し、自分の生活に生かす力を身に付けることができるようになっている。</p> <p>○ 「体の発育と健康」については、第3, 4学年では、自分の体の変化や発育の個人差について調べたり、思春期に悩みを持つ登場人物へのアドバイスを考えたりするなど、課題を見つけ、解決に向かう活動を通して、体の発育と健康について理解し、これからの自分の生活に生かす力を身に付けることができるようになっている。</p> <p>○ 「心の健康」については、第5, 6学年では、自分の心の変化（感情・社会性・思考力）について比較し考え、どのような経験を通して心が発達してきたのかを友達と話しあったり、不安や悩みなどの対処法について話し合ったり事例を参考に実践する活動を通して、心の健康について理解し、これからの自分の生活に生かす力を身に付けることができるようになっている。</p> <p>○ 「けがの防止」については、自分の経験の中からけがや事故の原因・犯罪被害にあいやすい場所・けがをした時の対処法について考え、課題を見つけ、データや自然現象をもとにけがや事故、犯罪に巻き込まれないためにはどうすればよいかを話し合ったり、その場でできる応急処置をやってみたりする活動を通して、けがの防止について理解し、危険予測や回避方法、応急処置など、これからの自分の生活に生かす力を身に付けることができるようになっている。</p> <p>○ 「病気の予防」では、第5, 6学年では、病気の起こり方について資料を基に理解し、病気にならないようにするためにはどうしたらよいかを友達と話し合ったり、喫煙・薬物の影響や地域で行われている病気の予防活動について調べたりして、病気の予防について理解し、これからの自分の生活に生かす力を身に付けることができるようになっている。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3, 4学年では、健康な生活において、自分の生活を振り返る活動で課題をつかみ、課題解決に向けて「調べよう」「考えよう」「話し合おう」「やってみよう」で資料を読んで調べたり、自分の考えを書いたり比べたり、友達と話し合ったり、実際に教室で体を動かしたり練習したりして、自分の考えを伝えあったり深めたりする活動が取り入れられている。第5, 6学年では、心身の健康において、自分の生活を振り返る活動で課題をつかみ、課題解決に向けて「調べよう」「考えよう」「話し合おう」「やってみよう」で資料を読んで調べたり、自分の考えを書いたり比べたり、友達と話し合ったり、実際に教室で体を動かしたり練習したりして、自分の考えを伝えあったり深めたりする活動が取り入れられている。</p>		

<p>内容の構成・排列</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、第3，4学年では、自身の1年生から4年生までの体の成長について学習し、体が発育する時期や変化についての個人差を考える学習活動を位置づけ、思春期の体の変化についても同様の学習活動ができるようにするなど、体系的・発展的に学習できるようになっている。 ○ 内容の構成・排列については、第5，6学年では、事故やけがが起こる原因について学習し、その原因を人的要因と環境要因に分けて考える学習活動を位置づけ、交通事故や自然災害についても同様の学習活動ができるようにするなど、体系的・発展的に学習できるようになっている。
<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の身近にある生活の挿絵や、具体的な資料、現実味のある写真を活用するなど、意欲的に学習できるよう工夫されている。 ○ 自分の生活を振り返る活動をした後に課題をつかむ活動が行えるようにして、主体的に学習できるよう工夫されている。 ○ より多くの人に見やすく読み違えにくいデザインの文字であり、イラストが多く効果的に視覚にうたえるようになっている。1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、動画やシミュレーションを活用できるようにするなど、使用上の便宜について配慮されている。
<p>その他</p>	

調 査 研 究 結 果

	種目	発行者	教科書名
観 点	保健	224・学研	新 みんなのほけん 3・4年 新 みんなの保健 5・6年
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「健康な生活」については、第3, 4学年では、自分の生活を振り返って、生活と健康について考えたり、話し合ったり、手や衣類の汚れを調べる実験結果をもとに、体や衣類の清潔の大切さについて考えたりする活動を通して、健康について理解し、学習したことを自分の生活に生かす力を身に着けることができるようになっている。 ○ 「体の発育と健康」については、第3, 4学年では、自分の体の変化や発育の個人差について調べたり、思春期に悩みを持つ登場人物へのアドバイスを考えたりするなど、課題を見つけ、解決に向かう活動を通して、体の発育と健康について理解し、学習したことをこれからの自分の生活に生かす力を身に着けることができるようになっている。 ○ 「心の健康」については、第5, 6学年では、自分の心の変化（感情・社会性・思考力）について比較して考え、どのような経験を通して心が発達してきたのかを友達と話しあったり、不安や悩みなどの対処法について話し合ったり事例を参考に実践する活動を通して、心の健康について理解し、学習したことをこれからの自分の生活に生かす力を身に着けることができるようになっている。 ○ 「けがの防止」については、自分の経験の中からけがや事故の原因・犯罪被害に遭いやすい場所・けがをした時の対処法について考え、課題を見つけ、データや自然現象をもとにけがや事故、犯罪に巻き込まれないためにはどうすればよいかを話し合ったり、その場でできる応急処置をやってみたりする活動を通して、けがの防止について理解し、危険予測や回避方法、応急処置など、これからの自分の生活に生かす力を身に着けることができるようになっている。 ○ 「病気の予防」では、第5, 6学年では、病気の起こり方について資料を基に理解し、病気にならないようにするためにはどうしたらよいかを友達と話し合ったり、喫煙・薬物の影響や、地域で行われている病気の予防活動について調べたりして、病気の予防について理解し、これからの自分の生活に生かす力を身に着けることができるようになっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第3, 4学年では、健康な生活において、自分の生活を振り返る活動で課題をつかみ、課題解決に向けて「くらべたり、たしかめたり、しらべたり」「話し合ったり、説明したり」「学習したことを活用」して、課題を解決する活動が取り入れられている。第5, 6学年では、心身の健康において、自分の生活を振り返る活動で課題をつかみ、課題解決に向けて「くらべたり、たしかめたり、しらべたり」「話し合ったり、説明したり」「学習したことを活用」して、課題を解決する活動が取り入れられている。 		

<p>内容の構成・排列</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、第3，4学年では、自身の1年生から4年生までの体の成長について学習し、体が発育する時期や変化についての個人差を考える学習活動を位置づけ、思春期の体の変化についても同様の学習活動ができるようにするなど、体系的・発展的に学習できるようになっている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、第5，6学年では、事故やけがが起こる原因について学習し、その原因を人的要因と環境要因に分けて考える学習活動を位置づけ、交通事故や自然災害についても同様の学習活動ができるようにするなど、体系的・発展的に学習できるようになっている。</p> <p>また、北海道にかかわりのある内容については、「3 病気の予防」の喫煙の害で、たばこを吸う場所が決められている例として札幌市の喫煙制限区域の路上プレートの写真が示されたり、飲酒の害で、飲酒運転や「イッキ飲み」を防止するための取り組みの例として北海道の飲酒運転防止のポスターが取り上げられたりしている。さらに、「もっと！知りたい・調べたい」では、喫煙や飲酒をしないための取り組みの例として旭川市の防止キャンペーンの写真が取り上げられたり、資料「保健に関わる地域の施設について知ろう」で、施設の例として札幌市民防災センターの写真が取り上げられたりしている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 自分の身近にある、現実味のある写真、具体的な資料を活用するなど、意欲的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○ 自分の生活を振り返る活動をした後に課題をつかむ活動が行えるようにして、主体的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○ より多くの人に見やすく読み違えにくいデザインの文字であり、写真が多く、視覚にうったえるようになっている。1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、動画やシミュレーションを活用できるようにするなど、使用上の便宜について配慮されている。</p>
<p>その他</p>	